

町部東 文化協会だより

第 3 号

発行 東部町文化協会
発行月日 61.11.25
印刷 東鉄印刷機

文化協会に憶う

竹内貞良

協会だよりの発刊は、文化協会の活動内容を町民の皆様に、御理解をいただくということが主眼であります。文化協会加盟のグループが百十五余、参加人員千七百名という方々が、文化協会発足以来十五年、文化活動に精進されてきました。せっかくの学習もいずれかの方法で町民の皆様の眼に、耳



に入れていただく為の行事もしてまいりました。

グループの代表の方々から原稿をいただき、各々がもつ持ち味を大事に、益々このことを通じて文化の向上発展を願っております。

今回の総合文化展を実施致しましても、参加者の譲り合う気持ちと工夫によって、陳列も出来ましたが、光の問題は解決の手段もなく残念なこともありました。今日まで中央公民館が主体で取り組んでまいりました。社会教育を担当する場所としても狭隘を感じます。時の推移と共に文化会館的な建物の要求度が高まっていることを町理事者、議会関係者の御理解をいただき、早急に実現できますことを願ってやみません。今後一層会員一人一人の活躍と、文化協会の増々発展を願っております。

第三回 総合文化展の反省

小松久子

今年も総合文化展が十一月一日から三日まで、盛大に行われ出品人数約千名、作品数千二百点、内個人四十八名の参加がありました。このような作品発表を機会に相互研修を深め、時には厳しく楽しく和やかに学習されています。今回の反省としては、会場への注文が多数ありました。例えば、一階の華道は、暖かすぎ、絵画、写真、ちぎり絵においては光線の関係で、部屋が暗すぎた事です。籐手芸、陶芸は、作品が大型になり大変よかったです反面、菊花は春からの作品なので五日間位は観賞してほしい

との要望がありました。俳画、俳句、短歌は会場は大変よかったです。又、身障者コーナーは皆さんと会話をもちつつ毎年続けてほしいとの要望がありました。全体として会場の広い場所がほしいのが夢です。

最後に館長さんからのお話して「これだけの品数があれば、プログラムを作り一品に厳選したら。」との御意見がありました。今後は民謡、合唱、民謡等の発表会が来年開かれます。町民の皆さんの参加をお待ちしております。多数参加されますよう御案内申し上げます。



- 文化協会加盟の各団体が各々、一年間の勉強の成果を次の予定で発表します。町民の多くの皆さんが、ご来場くださるようお願いしております。
- (一) 教養講座発表会 二月七日、八日
 - (二) 合唱祭 二月二十八日
 - (三) 民謡発表会 三月一日
 - (四) 民謡発表会 三月八日

謡曲の楽しさ

謡曲クラブ

掛川 正水



若い頃結婚式等で謡曲を聞いて
良いものと思いました。其の頃、
加沢の故萩原賢太郎先生に教えて
戴き、同好の多勢の方々とお付合
いできて幸せでした。

昭和三十六年に東部町観世会が
発足しました。その頃より長野の
児玉一太郎先生、東京の谷村一太
郎先生に師事し、御指導を願ひ仕
舞等も会員の皆さんと共に勉強を
しております。近年は各種の学習
活動が盛んになっておりますが、
謡曲の話が出ると難しい、の一言
で済まされませんが何の学習でも同
じだと思えます。この道に入っ
て祝事、法事、宴会、等の席で
互いにするのが小謡で一曲の中
一部分が謡われています。流派は
観世、宝生、喜多、金剛、金春、
と五流で狂言、太鼓、大鼓、小鼓、
笛、仕舞等が有りこれを一つにし

て演ずるのが各流の能楽です。町
内で盛んなのは観世、宝生流でよ
く聞かれます。当観世会では発足
以来年間四回位の発表会をし、上
田市や長野市等の会にも参加しま
す。別に各グループごとでも二回
程の発表会を開き、日頃の稽古の
成果を発表しております。謡曲
も入ってみて本当の楽しさ、おも
しろさがわかるかと思えます。



私達写真SFCについて思い
く事を少し書いて見たいと思いま
す。まずこの会が出来た頃の事を
思い出してみると、遙かに昔の事
で、昭和四十三年頃だったと思
います。Sカメラ店が開店して間も
なく、当時はしりだった水着の撮

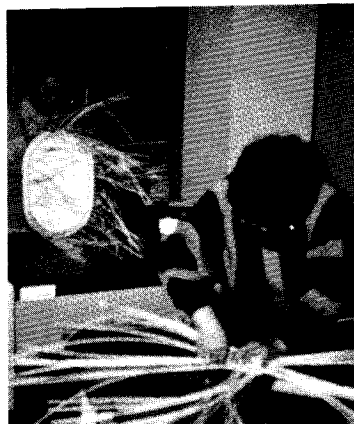
影会を千曲川でやった所、二百人
近い人が集まって来て、写真を撮
たり又物見湯山に来て下さったり
で、千曲橋の上を賑わせ、翌日の
信州民報にも載った程でした。そ
の直後にカメラで興味のある写真
マニアが集まって、第一回目的撮
影旅行は、木曾のSLを追いかけ
て夢中で走り回ったものでした。
あれから十数年の今日まで、よく
まあ続いたものと改めて感慨無量
のものがあります。メンバーは最
初からいる方もおり、一度止めた
が又入られた方もいたり、月一
回の例会を楽しみにしているよう
です。毎月お互いの作品を持ち寄
り、一位から五位まで投票で決め
年度賞のトロフィーを楽しみに頑
張っております。中には、知事賞
を獲得したり、県展に入賞したり
優秀な方もおります。年に一度の
撮影旅行も又たのしみの一つです。
今年からぼつ／＼女性のメンバー
を募集したいなんて声も出ており
ます。写真の事を覚えたい方とか、
女性の皆さん、是非お入り下さい。
大いに歓迎します。

藤手芸を趣味として

藤春会

柳 沢 芳子

庭のかえで、錦木の紅葉を窓ご
しに見ながら秋の文化祭に出品す
る作品の仕上げをしております。



私たちは三年前にはじめて、藤
手芸が教養講座にとりいれられて
から習いはじめました。山口春香
先生を中心に、二十人位の方々と
毎月二回講座がありました。なか
なかはじめの事で、上手に出来
ませんでしたが、先生が一人一人
手をとってしっかりと基礎から教え
て下さいましたので、まがりなが
らもそれぞれ同じ教材でも個性の
ある鉢カバ、手かご等が出来ま
した。教養講座は一年だけとのこ
とでずっと続けて藤春会グループを
作りました。十五人位でした。教
養講座で基礎が出来ましたので、
編みはじめの種類・縁の始末・模
様編み等の応用が出来るようにな
り、ます／＼面白がわいてきて、
出来上がる教材を縦横からながめ
て楽しみながら作っております。少
して三年目になりました。少し大き
な作品、又手のこんだ作品、紅藤
等に挑戦しております。それ／＼
出来上がった作品上手下手はあり

ますが、手作りという事でとても楽しいものです。大きく言えば、この世の中にたった一つしかない作品ですから。又今までおたがいに知らなかった方々と仲間になれた事が、もう一つの収穫と思えます。

大正琴の素晴しさ



大正琴の音に魅せられて八年有余がたちました。演歌、クラシック、ルンバと種々の奏法を試みてまいりました。宗家を迎えて発表会やおさらい会も三回程行いました。佐久の方々や近所の琴愛好者が集まったの演奏会は本当に楽しい思い出の一駒です。又、春秋二回名古屋での大正琴まつりにも出演いたします。会を重ねてきたので舞台で、あがる事はなくなりま

したが農繁期の時は大変です。家の人達の協力に感謝している次第です。今年の六月は国技館で全国大会に出演五十名の大世帯で参加出来ました。七月は仙台へ演奏旅行にと琴を通して知らない土地の方と交流する事が出来ます。優秀なりーダーに恵まれ素晴らしい友に支えられ東部町という文化の町に生き続けられる事に感謝し、一層精進して良いグループ造りに努めたいと思っております。情緒豊かな人間性を養いながらこれからの人生を送りたいものです。只今さつき会は来年四月NHKホールにおいて行われる全国大会に向けて練習中です。曲は琴曲で有名な「春の海」です。大曲なので週一回の練習に意欲を燃やして頑張っております。素晴らしい春の海の演奏を夢みながら。

囲碁の楽しさ

囲碁クラブ

吉沢 享

わが囲碁部は日本棋院東部町支部が主体となつて活動しています。会員には次のように
 (1) 日本棋院の月刊誌「棋道」の読者会員（棋道会員と呼び年会費一万七〇〇円）。
 (2) 同月刊誌「レッツ碁」の読者会員（レッツ碁会員と呼び年会費八千七〇〇円）。
 (3) 前記(1)(2)に属さない会員（一般会員と呼び年会費二千円）。

の三種類があり、有段者は原則として(1)、(2)の会員になることになっております。

現在当部は棋道会員一八名、レッツ碁会員七名、一般会員三一名の合計五六名となつて居ります。

役員は会長福島芳佐、幹事長吉沢享、常任幹事掛山昌生、会計田中透、幹事田中地区、射手伝太、小宮山朝夫、和地区、竹内幸示、関賢太郎、柗津地区、中沢喜雄、滋野地区、唐沢甲子男の、〇名です。会では大会を年間概ね六回行っており、ちなみに本年度は二月新年大会（兼坂口杯戦）、三月ちもと杯戦、六月町長杯戦、八月支部長杯戦、十月秋季大会（菱野温泉一泊）、十一月年末大会（予定）という次第です。大会は毎回参加多数で誠になごやかに楽しく行われております。会では未加入同好者の入会を心から歓迎します。最寄りの幹事に申し出て下さい。



吟詠の楽しさと精神栄養

詩吟グループ

深町 太郎

現在詩吟グループは町文化協会に三流派が加入し、各教室にて勉強されており、特に町当局にはご理解と協力を賜り町公民館等にて毎年、発表会を開催させて頂き会員の吟詠、発展向上に対して感謝申し上げる次第です。最近吟詠と共に剣詩舞も大変盛んになり、誠に喜ばしい事です。吟剣詩舞は精神を集中させる事により、心の乱れや荒廃を防ぎ、毎日の生活に良き刺激となつていと思えます。日本人の知恵により生まれた吟剣詩舞や数々の伝統文化は精神面に与える良き潤滑油とも言えます。吟詠グループは勉強により会員同志の精神的融合と和合の心が養われ、又多勢の会員との交流も深まり、尚日本詩、漢詩の勉強も出来て大変良い事です。

最後に吟詠の勉強にふれてみます。作曲家、船川利夫先生によりますと「音楽には三つの重大要素がある。メロデー、リズム、ハーモニーの三つです。メロデーとは節まわし、リズムは周期的に繰り返される音の強弱関係、ハーモニーは音の調和です。……と申されておられるも大切にしなければなりません。なお、正しい日本語の読み方、即ちアクセントを守り、又正しい発声の基に、流派は違つても

方、即ちアクセントを守り、又、正しい発声の基に、流派は違っても、吟道の発展と、次第に言い継がれるべく精進、努力して参りたいと思います。

社交ダンスの楽しさ

ソシアルダンスクラブ

寺島 正 剛



東部町ダンス愛好会の発足に当たり、希望者三十余名にて、町のサークル活動の一部に、参加させて頂きました。講師には、長野県社交舞踏教師協会公認の小宮山英

一郎先生が指導に当たって下さいます。今、社交ダンスは、全国的に静かなブームを呼んでおり、NHKテレビでもダンスのレッスン講座が放映されており、大変な人

文化協会は心のふれあいの場

文化協会副会長 小林 清 枝

今年も発表会及び総合文化展が、皆様のご協力により盛大に行なわれました。趣味で始めた小さなグループが寄合つて文化協会が発足して、早や十余年になりました。町の発展に伴って会員数も増加し、現在では一七〇名になり大

変喜ばしいことです。公民館と文化協会との共催で教養講座も年々受講生がふえ二十八教室ともなり生涯に渡る学習の場として盛んになりました。公民館長はじめ事務局が町民のパイプ役となり献身的にご苦労して下さいることに感謝しております。私も二、三の部門に加入して勉強していますが親しい友達もふえ語らいも楽しく、忙しい仕事にも意欲が湧いて張合いのある毎日です。各グループでの横の連携が密になり、大きな輪となつて発足当時の「文化活動を通じて

気が出ております。社交ダンスは老若男女を問わずどなたにでも気軽に出来る、健康的なスポーツでございます。ダンスを通じて対人関係の和を広め、自分自身の健康維持のため、始められては如何でしょうか。ダンスは初めてと言われる方でも一歩づつ親切に御指導致しますので、是非、町民の皆様様の御参加をお待ちしております。

古文書への進め

古文書研究会

別府 貞 巳

本会は十年余りつづいており、例年十二月から三月までの間、五回ないし六回まで、上田東高等学校教諭尾崎行也先生を講師として多くの古文書を読解してまいりました。力のある先輩も仲間であり読み方、歴史的背景などについてのアドバイスもあつて楽しく古文書に親しむことができました。古文書が読めたらなあ……と思う方もたくさんおられることと存じます。むずかしく考えないで参加してみ

てはいかがでしょうか。おすすめいたします。

今年度は……自分の足で立った学習を……との声が出てまいりましたので、左記のような計画で学習を進めて行くことになっております。

○会場 中央公民館

○資料 白田文書・御触書・会員の推薦する古文書

○学習形態 グループ学習 成果を発表し学習を深める。

○講師 問題を整理して依頼、指導を仰ぐ。今年三回程

○具体的日程

十一月十九日(水)総会 資料配布

十二月 四日(木) 十八日(木)

一月 十日(土) 二十六日(月)

二月 十日(火) 二十七日(金)

三月 九日(月) 二十四日(火)

六十二年度の四月以降は月一回程度の学習を進め、古文書からの空白をなくしていきたいと思っております。

ここに文化協会だより第三号が会員の皆さんの協力により発行できましたことを編集委員一同心から感謝申し上げます。各グループの一層の活躍と、町民の皆さんの協会加入をお待ちしております。

(編集部一同)

